



2006年2月17日

各 位

会社名 日立電線株式会社  
代表者 執行役社長 佐藤 教郎  
(コード番号 5812 東証・大証1部)  
問合せ先 人事総務本部 総務部長  
石川 正昭  
(TEL. 03-5252-3261)

## 東南アジアグループ会社の販売事業再編について

このたび日立電線株式会社は、子会社である Hitachi Cable (Singapore) Pte. Ltd. (以下、「ヒタチケーブル・シンガポール社」といいます。)を中心とする東南アジアグループ会社の販売事業の再編を下記のとおり行い、東南アジア地域における販売体制を強化することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 事業再編の概要・目的

近年、東南アジア地域の経済成長は目覚ましく、ASEAN (Association of Southeast Asian Nations) における 2005 年度の経済成長率は 5% を超すと予想され、今後も引き続き高い成長率が見込まれています。

当社グループは、東南アジア地域 4 ヶ国 (シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン) に販売会社及び販売会社の支店等を有しております。従来、これらの各営業拠点では、それぞれ独自に営業活動を推進しておりましたが、東南アジア市場に対して従来以上に深耕し、インドやベトナム等の新興市場の旺盛な需要に対応するため、4 月 1 日をもって当社の子会社で電線、電線加工品及びリードフレーム等の製造・販売を行うヒタチケーブル・シンガポール社が各営業拠点の営業活動を統括することにより、販売体制の強化を図ります。

具体的には、当社の子会社で電線・ケーブル等の販売を行う Hitachi Cable Asia Ltd. (以下、「ヒタチケーブル・アジア社」といいます。)のシンガポール支店の販売事業をヒタチケーブル・シンガポール社に統合するとともに、ヒタチケーブル・アジア社の保有する HCAS Thai Trading Co., Ltd. (以下、「HCASタイトレーディング社」といいます。)の全株式をヒタチケーブル・シンガポール社が取得いたします。これに加え、同社に新たに営業企画部を設置し、東南アジア市場におけるマーケティング力を向上させ、傘下においた各営業拠点との連携を強化することで、シナジーの創出、ガバナンスの強化等を目指すことといたしました。

また、今回の事業再編に伴いヒタチケーブル・シンガポール社は、商号を Hitachi Cable Asia Pacific Pte. Ltd. (「ヒタチケーブル・アジアパシフィック社」)に変更いたします。

## 2. ヒタチケーブル・シンガポール社とヒタチケーブル・アジア社シンガポール支店の事業統合について

### (1) 内容

#### ①事業統合の内容

ヒタチケーブル・シンガポール社は、ヒタチケーブル・アジア社シンガポール支店の販売事業を譲り受けます。

#### ②譲渡する事業の2004年度における経営成績

	ヒタチケーブル・アジア社 シンガポール支店 (a)	ヒタチケーブル・アジア社 実績 (b)	比率(a/b)
売上高 (千香港ドル)	396,002	1,083,859	36.5%
営業利益 (千香港ドル)	5,784	16,157	35.8%
経常利益 (千香港ドル)	7,016	14,926	47.0%

#### ③譲渡の日程

契約締結日：2006年2月17日

譲渡日：2006年4月1日(予定)

### (2) ヒタチケーブル・アジア社の概要 (2004年12月31日現在)

- ①商号：Hitachi Cable Asia Ltd.
- ②事業内容：電線・ケーブル等の販売
- ③設立年月：2002年4月
- ④本店所在地：香港 九龍
- ⑤代表者：取締役社長 南 俊夫
- ⑥資本金：4,500千香港ドル
- ⑦株主資本：24,231千香港ドル
- ⑧総資産：314,475千香港ドル
- ⑨決算期：12月末日
- ⑩従業員数：59人
- ⑪大株主及び持株比率：日立電線(株)：100%

### (3) 譲渡先の概要 (2004年12月31日現在)

- ①商号：Hitachi Cable (Singapore) Pte. Ltd.
- ②事業内容：電線、電線加工品及びリードフレームの製造及び販売
- ③設立年月：1974年7月
- ④本店所在地：シンガポール ジュロン
- ⑤代表者：取締役社長 中川 邦夫
- ⑥資本金：16,000千シンガポールドル
- ⑦株主資本：52,600千シンガポールドル
- ⑧総資産：98,560千シンガポールドル
- ⑨決算期：12月末日
- ⑩従業員数：350人
- ⑪大株主及び持株比率：日立電線(株)：83%  
A. C. T. HOLDING PTE. LTD.：7%  
日立マグネットワイヤ(株)：5%  
日立電線ファインテック(株)：5%

### 3. ヒタチケーブル・シンガポール社の商号変更及び代表者の異動について

- (1) 当該子会社の概要等：上記2の(3)をご参照ください
- (2) 変更の理由：東南アジアグループ会社の販売事業の再編に伴い、東南アジア地域4ヶ国（シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン）の販売拠点を統括するにふさわしい商号に変更するものです。
- (3) 新商号：Hitachi Cable Asia Pacific Pte. Ltd.
- (4) 新商号実施日：2006年4月1日（予定）
- (5) 新代表者の氏名：南 俊夫

### 4. ヒタチケーブル・シンガポール社によるヒタチケーブル・アジア社の保有するHCASタイトレーディング社株式の取得について

- (1) 株式譲渡の理由  
電線・ケーブル、伸銅品、電子部品材料及び自動車用ホース等の販売を行うHCASタイトレーディング社を、東南アジア地域4ヶ国（シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン）の販売拠点を統括するヒタチケーブル・シンガポール社の傘下におき、販売面での連携強化を図ってまいります。
- (2) 株式譲渡する子会社の概要（2004年12月31日現在）
  - ①商号：HCAS Thai Trading Co., Ltd.
  - ②事業内容：電線・ケーブル、伸銅品、電子部品材料及び自動車用ホース等の販売
  - ③設立年月：2004年2月
  - ④本店所在地：タイ バンコク
  - ⑤代表者：取締役社長 静川 博
  - ⑥資本金：4,000千バーツ
  - ⑦発行済株式総数：4,000株
  - ⑧株主資本：6,828千バーツ
  - ⑨総資産：25,722千バーツ
  - ⑩決算期：12月末日
  - ⑪従業員数：10人
  - ⑫大株主及び持株比率：Wangnoi Marketing Ltd.：51%  
Hitachi Cable Asia Ltd.：49%
- (3) HCASタイトレーディング社の最近事業年度における業績（2004年度）
  - ①売上高：45,773千バーツ
  - ②営業利益：2,665千バーツ
  - ③経常利益：3,726千バーツ
- (4) 株式の譲渡先の概要等：上記2の(3)をご参照ください。
- (5) 譲渡株式数および譲渡前後のヒタチケーブル・アジア社の所有株式状況
  - ①異動前の所有株式数：1,960株（所有割合49%）
  - ②譲渡株式数：1,960株
  - ③異動後の所有株式数：0株（所有割合0%）
- (6) 譲渡金額：未定
- (7) 日程：2006年4月1日（予定）

### 5. 当社業績に与える影響

本件が、当社個別業績に与える影響はありません。また、当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上